

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 4 区分
 【発行日】平成 26 年 11 月 6 日 (2014.11.6)

【公開番号】特開 2013-117045 (P2013-117045A)
 【公開日】平成 25 年 6 月 13 日 (2013.6.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-030
 【出願番号】特願 2011-265272 (P2011-265272)
 【国際特許分類】

C 2 2 C 37/04 (2006.01)

B 2 2 D 27/20 (2006.01)

【F I】

C 2 2 C 37/04 F

B 2 2 D 27/20 C

【手続補正書】
 【提出日】平成 26 年 9 月 22 日 (2014.9.22)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

質量比で、C : 3 . 0 ~ 4 . 5 %、S i : 3 . 0 ~ 4 . 5 %、M n : 0 . 2 ~ 0 . 4 %、S : 0 . 0 0 6 ~ 0 . 0 2 0 %、C u : 0 . 0 8 ~ 0 . 3 0 %、S n : 0 . 0 2 0 ~ 0 . 0 4 0 %、M g : 0 . 0 1 5 ~ 0 . 0 5 0 %、Z n : 0 . 0 1 % 以下、含有し、残部が F e および不可避不純物からなる球状黒鉛鑄鉄により形成され、引張強度が 4 5 0 M P a 以上、伸びが 1 5 % 以上、黒鉛球状化率が 8 5 % 以上、ヤング率が 1 7 0 G P a 以上、対数減衰率が $1 . 0 \times 10^{-3}$ 以上であって、製品肉厚が 6 m m 以下の薄肉部にチル相が存在しないことを特徴とする、薄肉球状黒鉛鑄鉄部材。

【請求項 2】

取鍋にて、溶湯に対して、質量比で、C a : 1 . 0 ~ 2 . 0 % 含有する F e - S i - M g - C a 系合金からなる球状化剤を、溶湯に対する投入量を、質量比で 0 . 8 ~ 2 . 0 % として、球状化処理を行うとともに、F e - S i 系接種剤を用いて接種処理を行い、その後、質量比で、S i : 4 5 ~ 7 5 %、C a : 1 . 0 ~ 3 . 0 % 含有する F e - S i 系接種剤を、溶湯に対する投入量が 0 . 2 0 ~ 0 . 4 0 % として注湯流接種処理を行う工程を経て得られた球状黒鉛鑄鉄により形成されることを特徴とする、請求項 1 に記載の薄肉球状黒鉛鑄鉄部材。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の薄肉球状黒鉛鑄鉄部材を使用したことを特徴とする車両用部品。